

予算決算

一般会計補正予算

◎総務部所管

問 庁舎前駐車改修工事にあわせて、車道と歩道の境界部分も改修するが、歩道は県の管理である。県からの補助金交付は。

答 県道部分ではあるが、庁舎駐車場の出入口の改修に伴う工事のため、県に負担を求めるのは難しい。

子どもを産み育てやすい環境の整備及び物価高騰対策などを盛り込んだ補正予算を可決

◎産業建設部所管

意見 筒井徳丸線は新設道路で、年数もあまり経過していないのに、多額の舗装補修費用がかかっている。

調査を行い、道路を整備したのではないのか。計画も施工管理もしっかりしてほしい。

答 舗装補修が想定より早くなっているのは事実である。工事業者の施工管理について、町の職員が確実にけるよう努力する。

問 橋梁長寿命化修繕事業では「橋りょうの延命化を計画的」、舗装長寿命化修繕事業では「舗装の延命化を計画的」とある。

計画的であれば当初予算に計上すべきでは。なぜ補正予算になったのか。

答 橋りょう及び舗装に関しては、長寿命化修繕計画を立てて実施しているため、計画的という言葉を使用している。

両事業とも国の補助金を活用しており、4月以降に国の補助金が確定するため、例年6月補正で対応している。

問 北黒田海岸整備事業「いりこ加工工場移転用地支障物件解体工事」は一般財源である。

また、下水路等整備事業「江川排水路改修工事」は町債が財源となっている。当初予算でなく、なぜ補正予算になったのか。

答 北黒田海岸整備事業は、建物解体と残置されている物件の処分費の算定が、また、下水路等整備事業についても工事費の算定が当初予算に間に合わなかったため、両事業とも6月補正で計上した。

意見 北黒田海岸整備については、長期の見通しを立てたうえで、計画に従って遂行していくという姿勢を見せてほしい。ゴールを見据えた計画を立て、推進すること。

答 県と町が連携して事業を実施している。提言いただいたように、計画的に事業を進められるよう今後も努力していきたい。

問 中小企業及び農作物価高騰対策支援事業において、職員の時間外手当が計上されていないが、妥当か。

答 既存予算の中から支出をし、今後、不足した場合には改めて予算措置することを財政課と協議している。



答 団体の備品等はある程度揃っており、今後、自主的な活動の方向に成長していく段階にきていることから、申請をしなかった。

問 昨年度「まさき—いいとこ見つけ隊」は「人生100年時代」づくり、地域創生ソフト事業交付金交付事業」に初めて採択されたが、今年度交付されていないのは。



安心・安全な道路環境の確保！